

神経内科について

【診療科の概要】

神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気を診る内科です。身体を動かしたり、感じたりすることや、考えたり覚えたりすることが上手に出来なくなったときにこのような病気を疑います。

症状としてはしびれやめまい、うまく力が入らない、歩きにくい、ふらつく、つっぱる、ひきつけ、むせ、しゃべりにくい、ものが二重に見える、頭痛、かつてに手足や身体がうごいてしまう、物忘れ、意識障害などです。これらの症状は、多岐の病気によって引き起こされるため、全身を見ることが出来る神経内科でどここの病気であるかを見極めることが大事です。その上で骨や関節が原因であれば整形外科に、脳の病気で手術加療が必要であれば脳神経外科に、精神的なものは心療内科や精神科に紹介致します。全身を見極め、神経内科以外の疾患であった場合は適切な診療科に紹介させていただきます。

【対象とする症状】

- ・ けいれん
- ・ 頭痛
- ・ 身体の脱力、うまく力が入らない
- ・ ろれつが回らない
- ・ 見えにくい
- ・ 物忘れ
- ・ ふるえ、かつてに手足や身体が動いてしまう
- ・ しびれ
- ・ 筋肉のやせ、痛み
- ・ めまい
- ・ 意識障害

【対象とする疾患】

- ・ てんかん
- ・ 頭痛（偏頭痛、緊張性頭痛、群発頭痛）
- ・ 脳卒中（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）
- ・ 認知症（アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症）
- ・ パーキンソン病、パーキンソン症候群
- ・ 運動失調症